

新正副議長決まる



議長 中屋敷 慎 一



副議長 武内 政 文

御挨拶

議員の皆様のご御推挙により、第126代埼玉県議会議長の職を拝命いたしました中屋敷慎一でございます。

誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統のある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いであります。

さて、新型コロナウイルス感染症は、世界中で猛威を振るい、本県においても社会生活や経済に打撃を与え、私たちを大きな不安に陥れています。

私たちは、このコロナウイルスとの闘いが続く中、傷ついた経済を早期に回復させ、県民の皆様が安心して暮らせる社会を取り戻さなければなりません。

そのためには、ウィズコロナからポストコロナに向けてDXを強力に推進し、本県の経済を強固なものとして再構築することが重要です。

こうした課題を解決し、快適で暮らしやすい社会を実現させるためには、私たち議員が、県民の皆さんの声に積極的に耳を傾けるとともに、議員全員で知恵を出し合い、議論を尽くして、政策形成機能を強化していかなければなりません。

また、令和4年度からは新たな「埼玉県5か年計画」に基づき、様々な施策が展開されます。二元代表制の一翼を担う県議会が、監視機能を十分に果たして、しっかりと効果を検証するとともに、社会状況に即した政策を的確に提言していくことこそが、県民の負託を受けた県議会の責務だと私は確信しております。

埼玉県議会は、これまでに長い歴史と伝統を築き上げてまいりました。私も、これまでの礎を築いてこられた議長の足跡を受け継ぎ、高い使命感をもって、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

議員の皆様方、そして知事をはじめとする執行部の皆様方には、これまで以上の御支援、御協力を心よりお願い申し上げます、私の就任の挨拶とさせていただきます。

御挨拶

このたび議員の皆様のご御推挙により、副議長という要職に就かせていただきました武内政文でございます。

大変な名誉でありますとともに、その重責に身の引き締まる思いであります。

新型コロナウイルス感染症は、今なお予断を許さない状況であり、引き続き感染防止対策に努めつつ、ポストコロナを見据えて経済との両立に取り組んでいく必要があります。

このような状況の中、令和4年度からの「埼玉県5か年計画」に基づき、社会全体のDXを推進するなど、直面する様々な問題を克服し、安心して暮らせる豊かな郷土埼玉を実現しなければなりません。

本県議会としては、今後も県政の執行状況にしっかりと目を配るとともに、これまで以上に活発な議論を交わし、県民の皆様の声の的確に反映した政策の提案を行い、それが実施されるよう活動してまいります。

私といたしましては、もとより微力ではございますが、豊かな経験を持ち、秀抜な中屋敷議長のもと、本県議会がその機能を十分に発揮できるよう、公正かつ円滑な議会運営に努め、副議長としての職責を果たしてまいりたい所存であります。

議員の皆様、並びに大野知事をはじめとする執行部の皆様におかれましては、格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、副議長就任の挨拶とさせていただきます。